

「ため池総合対策」の取組状況について

1 要旨・目的

県では、豪雨等に起因するため池の決壊などによる災害の未然防止を目的として、「ため池総合対策」を推進しており、令和6年度の取組状況について報告する。

2 現状・背景

令和3年度から実施した防災重点農業用ため池の詳細診断結果を踏まえ、決壊時の下流への影響を考慮して、防災工事を計画的に実施することとしており、すべての対策を終えるには相当の時間を要することから、ソフト・ハード一体となった取組を市町と連携して進めている。

3 概要

(1) 対象者

ため池管理者等

(2) 事業内容（実施内容）

ア ソフト対策（管理強化・防災情報の発信）

「広島県ため池支援センター」による、健全度の低いため池のパトロール、管理者自らが適正な管理を行えるようリーフレットの配布や研修を行っている。

加えて、ため池の決壊リスクを早急に把握する遠隔監視装置の設置、当面の安全性を確保するサイフォン等による低水位管理を促進している。

（令和6年度実績：パトロール432池・管理者研修165人/18回・遠隔監視装置34池）



現地パトロール



遠隔監視装置
（カメラ・水位計付）



低水位管理
（サイフォン）

また、ため池が決壊した場合の浸水区域や避難所などを示したハザードマップについて、市町のHPで公表し、住民の避難行動に必要な情報を提供している。

引き続き、管理体制の強化や防災情報の発信に取り組んでいく。

イ ハード対策（補強・廃止工事）

農業利用するため池について、劣化・豪雨等に対する健全度に応じて、全面改修や部分改修による補強工事を行っている。

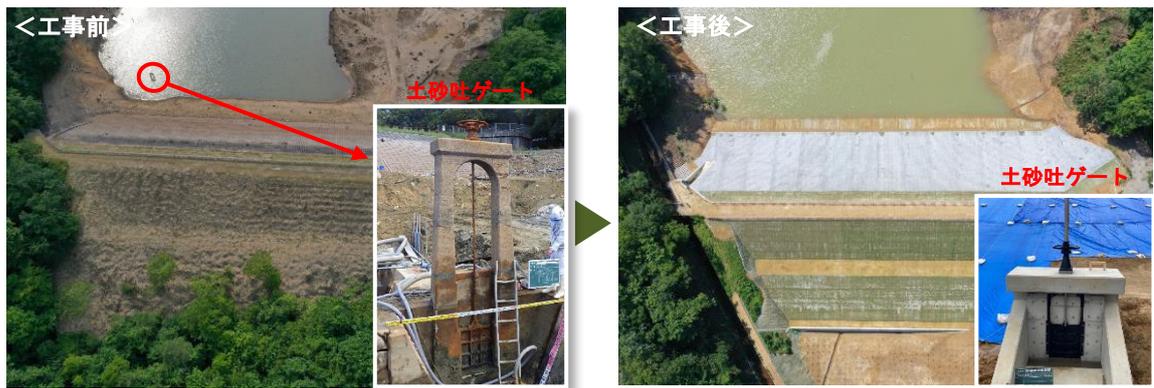
また、利用しなくなったため池は堤体を開削し貯水機能をなくす廃止工事を進めている。

引き続き、市町と連携した権利関係等の調整や、施工の省力化（ICT技術やプレキャスト製品の活用等）などによる建設業者の確保に向けた取組を行いつつ、計画的に防災工事を進めていく。

（令和6年度実施地区：補強工事28池、廃止工事49池）

[代表的な完成箇所]

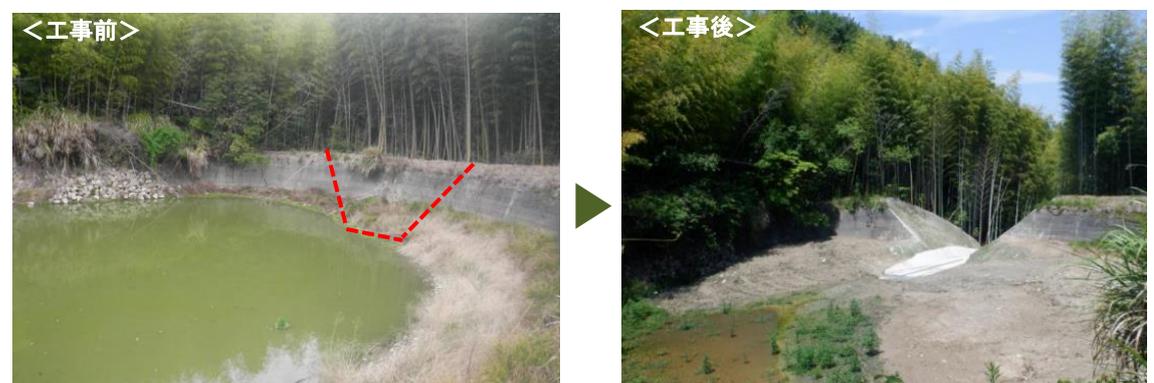
- ・ 全面改修工事（東広島市並滝寺池）※上空から撮影



- ・ 部分改修工事（三次市場松ため池）※洪水吐付近撮影



- ・ 廃止工事（江田島市新池）



(3) 予算（国庫・単県）

2,696,952 千円

（令和5年度補正 747,146 千円＋令和6年度当初 1,949,806 千円）